

平成15年12月22日

各位

会社名 荒川化学工業株式会社
本社所在地 大阪市中央区平野町1丁目3番7号
代表者名 取締役社長 末村 長弘
(コード番号 4968 東証第一部、大証第一部)
問合せ先 常務取締役経営企画室長 中尾 光良
TEL (06)6209-8500(代表)

中国における生産拠点設立のお知らせ

当社は、拡大を続ける中国市場での事業展開を推進するため、上海近郊の南通市に用地を確保し、製紙用薬品の製造を中心とする生産拠点の設立を決定したことをお知らせいたします。

1. 生産拠点設立の経緯

今年度よりスタートした中期5ヵ年経営計画(平成15年4月~平成20年3月)では、これまで進めてきたグローバルな展開のさらなる発展を目指しており、事業展開としては、アジア地域、特に伸長が著しい中国における市場開拓を推進しております。

中国では、高い経済成長を背景に紙の需要も増大しており、外資系製紙会社の進出が活発化するなど、紙・パルプ産業が急速に立ち上がりつつある状況となっております。当社グループでは、既に平成7年に梧州市で設立した梧州荒川化学工業有限公司で製紙用薬品の製造・販売を進めてきましたが、上海近郊を中心とする製紙会社の急速な拡大に対応していくために適した立地条件を備え、今後の需要拡大にも十分な対応ができる、あらたな生産拠点の必要性を認識しておりました。このため、様々な可能性を見据えた調査や上海に駐在員事務所を開設して現地でのマーケティング活動を強化するなど、準備作業を進めてまいりました。

このたび、上海近郊の南通市において生産拠点に好適な用地確保の見通しが立ったことから、南通経済技術開発区管理委員会との基本合意による「協議書」を締結し、生産拠点設立計画をスタートいたしました。

2. 生産拠点設立計画の概要

新会社として南通荒川化学工業有限公司(仮称)を設立し、南通経済技術開発区内に生産設備を建設して、平成17年中頃までには製造・販売を開始する予定にしております。

事業内容としては、顧客ニーズに的確に応え、紙の高機能化、古紙の使用によるリサイクル化および環境への配慮などに適した製紙用薬品の供給を通して、中国製紙産業の発展に寄与したいと考えております。

なお、当社内に設立準備委員会を設置し、上海駐在員事務所および中国内の関係会社との連携をはかりながら万全の体制で計画を推進してまいります。

名称	南通荒川化学工業有限公司（仮称）
場所	江蘇省南通市南通經濟技術開發区内
面積	約5万m ²
登録資本	約550万米ドル
資本構成	当社100%出資
生産品目	製紙用紙力増強剤、製紙用サイズ剤など
生産量	約2万トン/年
合意相手	中華人民共和国江蘇省南通市南通經濟技術開發区管理委員会
合意の性格	基本合意(中華人民共和国江蘇省南通市人民政府の立ち会いのもと、本日「協議書」を締結)

以上

[参考資料]

荒川化学グループ国際展開の歩み

明治

9年11月 荒川政七が大阪市東区伏見町2丁目に生薬商を開業

昭和

6年 1月 合資会社荒川商店に改組

18年11月 荒川林産化学合資会社に改称

31年 9月 荒川林産化学工業株式会社に改組

42年 5月 天立化学工業股份有限公司（現、台湾荒川化学工業股份有限公司）を設立

43年 5月 台北駐在員事務所を開設

50年 6月 ハンブルク駐在員事務所を開設

52年 4月 荒川化学工業株式会社に改称

57年 5月 ARAKAWA CHEMICAL (USA) INC. を設立

平成

7年 6月 梧州荒川化学工業有限公司を設立

7年 7月 ARAKAWA CHEMICAL (THAILAND) LTD. を設立

7年10月 香港荒川化学有限公司を設立

8年 8月 厦門荒川化学工業有限公司を設立

10年11月 ARAKAWA Europe GmbH を設立

15年11月 上海駐在員事務所を開設